

「SSLv3.0」で発見された脆弱性への対応について

2014年12月3日

ウェブリコムサポートセンター

当サービスでは、インターネット通信において安全性の高いSSL通信を使用していますが、暗号化方式のひとつである「SSLv3.0」について、深刻な脆弱性が発見されたと報道されています。通信内容の一部が、第三者によって解読される可能性があるというものです。

この脆弱性に対応するため、SSLv3.0での接続を遮断するよう、当サービスのサーバー側で設定を行います。

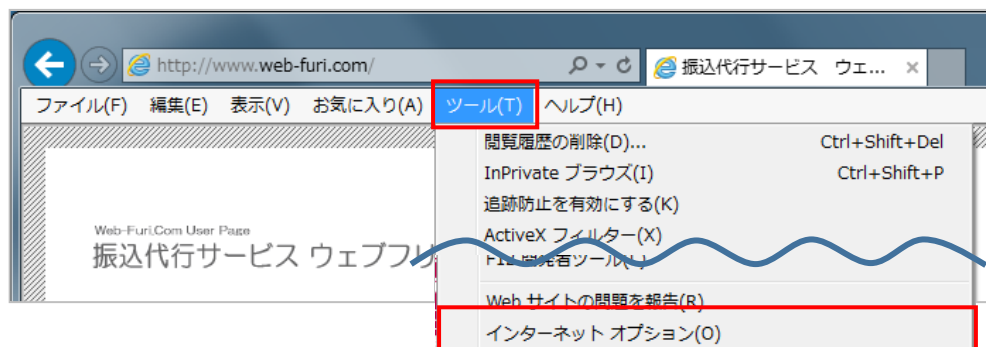
今後は、既に対応済の、SSLを基に強化・開発された暗号化方式「TLS」のみを通信に用いるようになります。最近のウェブブラウザはTLSに標準で対応しているため、当サービスのご利用に関して影響はございません。

尚、設定は12月6日（土）より適用されます。

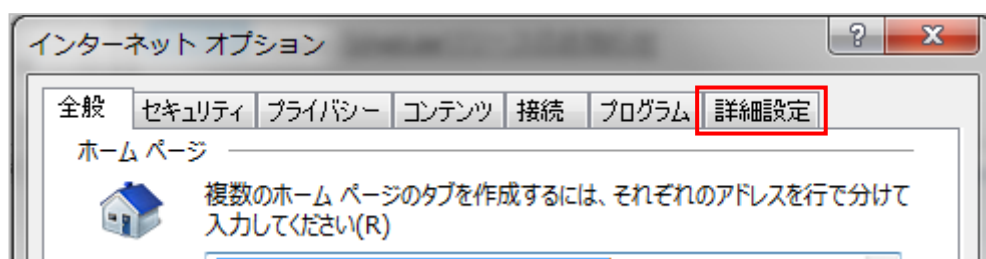
しかし、一部の古いブラウザやブラウザの通信設定によって、当サービスにアクセスできなくなる場合があります。その場合は新しいブラウザにアップデートしてご利用いただくか、次ページを参考に通信設定を変更していただくようお願いします。

■ 通信設定の変更方法

1. Internet Explorer のウィンドウ上部メニュー「ツール」から「インターネットオプション」を選択します。

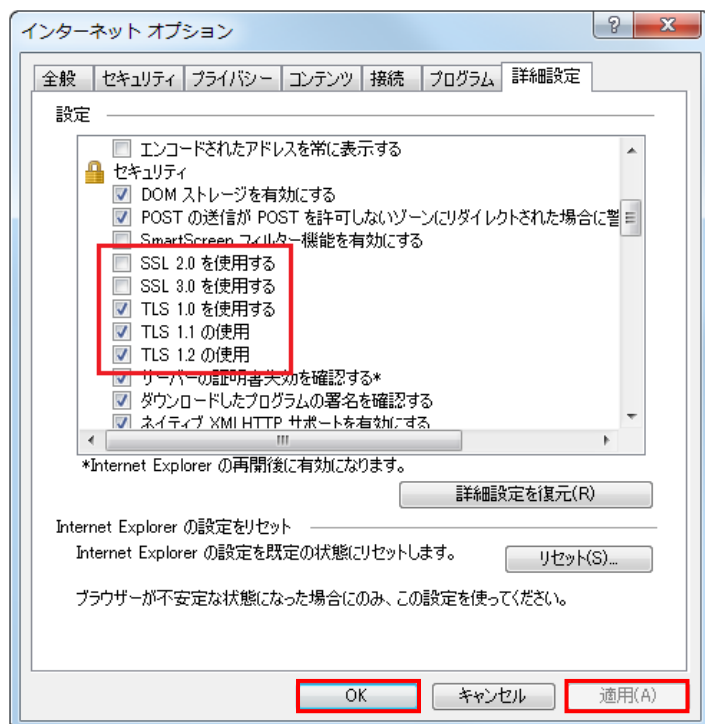


2. 「インターネットオプション」のウィンドウ上部にあるタブの中から、「詳細設定」を選択します。



3. 「設定」に表示された項目のうち、「セキュリティ」のブロックが表示されるまでスクロールします。

4. 「TLS1.0 を使用する」「TLS1.1 の使用」「TLS1.2 の使用」3カ所にチェックを入れます。



5. 「適用」ボタンをクリックし、「OK」で画面を閉じたら Internet Explorer を再起動します。